

戦後80年 長島幹雄氏

『民俗ノート』からみえるもの

戦争かかげしくなり

食べる物も着るものも

かな物も馬まきも

戦場の兵隊さんへ送られる

土地に残った者は耐えた耐えた

食べるもの日に日にへり

人々は自然自らは頼るしかない

父は山林をきり開いて煙草畑にし

作物を作って食をつぶさぬことになった

茶師の山林を経て山国へはいる

太陽の照り下りてくる真夏の日

画像：長島幹雄氏『民俗ノート』（部分）

令和7年 **7/28**(月)～**8/22**(金)

会場：北塩原村生涯学習センター2階展示室

時間：平日9時～17時(土日祝 休館)

《入館無料》

関連企画

令和7年度 北塩原村歴史・文化講演会

「平和を祈って～『きけ わだつみのこえ』

会津の学徒兵 長谷川信の生涯～」

講師：長島 雄一 氏(北塩原村文化財保護審議会委員)

日時：8月8日(金)13時30分から 1時間程度

会場：北塩原村生涯学習センター1階多目的室

《入場無料》